# 平成31年度(令和元年度) 事業報告

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

#### I 【概 要】

前年平成 30 年度の災害ラッシュ(西日本豪雨、関西国際空港の浸水、北海道胆振東部地震他)の 記憶も覚めやらぬ平成 31 年度、幸多かれとスタートしたばかりの令和元年には台風 15 号、19 号、 21 号が猛威を振い多くの会員の皆様に大きな被害をもたらした。更にまた年明け後の新型コロナウ ィルスの感染拡大という世界的脅威が、今まさに私達を震撼させている。平成 31 年度(令和元年度) の幕引きがコロナ危機の幕開けになるなど思いもよらぬことであった。

私達は、これから始まる未知の、そして未経験の事態に対し、自彊術という力に支えられながら 強く立ち向かって行かなければならない、自身と社会のために。

私達に何ができるのか、何が求められているのか。先ずは、我々一人ひとりが noin が心身の健全さを維持し、平常心を養い適切な判断力を備えて事に当たることが全ての基本と考える。その力を私達は永年自彊術によって育てられてきたということを忘れてはならない。そして今こそ、「自力自彊の精神」に思いを致し、暗黒の前夜を思わせる空気の湧き始めたこの国を支えるのだとの気概をもって指導と普及活動に全精力を注いで下さることを心よりお願いしたいものと考える。

なお、平成31年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、56,375名となり前年度比613名の減少(-1.07%)となったが、初伝、中伝、奥伝資格取得者数は順調に推移しており、今後とも自彊術が"療法を背景とする奥深い健康体操である"ことを各教場でも伝えることのできる指導者教育(養成)に注力して一層の基盤強化を図っていく必要があるものと考えている。常に「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国の指導員、本部職員の皆々様に改めて感謝を申し上げる。

会 員	平成31年3月末	令和2年3月末	増減
正会員	6 6 0	6 4 8	-12
賛助会員	56, 988	56, 375	-613
合 計	57,648	57,023	-625

## II 【事業の内容】

# 公1 普及促進事業

#### **1. 指導講習会の実施**(定款第4条第1項(1))

①本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、 従前よりの教場に加えて令和元年度は下表の推移となった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H30 下期 (確定値)	61	263	2, 726	695	758	448	4, 951
R 元年度増減 (※速報値)	+2	0	+80	-48	+24	+3	+61
計	63	263	2,806	647	782	451	5, 012

<sup>※</sup> 各支部長申告のデータより算出しています。

#### ② 受託講習会

地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

#### ③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術 31 動から抜粋して行う 等の活動がなされた。

#### **2. 指導者養成及び資格・称号の授与**(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

#### (1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

#### ■本部研修会

「準師範等研修会」に於ける検証・確認事項を、正会員をはじめとする現役指導者及び資格取得を目指す者に直接伝える研修を行う。安全かつ適切な指導を全国的に維持・確保する重要な研修会である。

#### ① 「本部研修会 in 熱海」

第 106 回	平成 31 年 4 月 12 日~13 日
	指導者 師範3名・準師範1名・奥伝2名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 98 名
第 107 回	令和元年 6 月 21 日~22 日
	指導者 師範3名・準師範1名・奥伝2名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計89名
第 108 回	令和元年 10 月 18 日~19 日
	指導者 師範3名・準師範1名・奥伝2名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計87名

厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。 なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持 確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容 も厳しいものになっている。

#### ② 「シニア本部研修会 in 熱海」(68 歳以上の、指導者を目指す者を対象とする。)

第 13 回	令和元年 10 月 16 日~17 日					
	指導者 師範2名・準師範2名・奥伝2名					
	受講対象者 68歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計94名					

指導者を目指す 68 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、充分に挙げ得たということができる。

#### ③ 「本部道場研修会」

本会及び関東地区等の中核となる指導者養成のために、年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

#### ■「総支部指導者養成所研修会」

指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって 実施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師		
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5-18 置賜会館	準師範	髙原 恵子 他	
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-12-3 本部道場	師 範	幸村惠美子他	
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の 内 2-5-10 アイリス愛知	準師範	富田 節代 他	
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府吹田市朝日町 1-401 さんくすホール	師 範	四本多美子他	
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北区 古船場町 1-6 菅原会館	準師範	宮本 縒子 他	

#### ■「地方特別研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施する。

# 平成 31 年度(令和元年度) 地方特別研修会

番号	支部名	特研開催日		場所	実行委員長講師		師			
1	春日部•越谷•春日部北支部合同	4/23	火	~	4/24	水	本部道場	藤井靖子	鎌上恭子	丹羽とも子
2	石川県支部	5/11	±	~	5/12	日	石川県文教会館	木戸外茂子	吉川由美子	大矢貴江
3	千葉県稲毛・千葉県流山・大宮南支部合同	5/14	火	~	5/15	水	本部道場	須賀照子	中島陽子	大橋直子
4	千葉県柏·立川朝日支部合同	5/21	火	~	5/22	水	本部道場	久保田元子	門倉久美子	劔 早百合
5	立川・甲府支部合同	5/24	金	~	5/25	±	ホテルやまなみ	遠藤ゆり子	三上博子	新田孝子
6	豊橋支部	5/25	±	~	5/26	В	ロワジールホテル豊橋	富田節代	山尾慶子	上田順子
7	大阪府支部	5/25	±	~	5/26	В	パナソニックリゾート大阪	綿田芙美枝	鈴木多津子	加藤由美子
8	わかやま県・大阪東支部合同	6/1	±	~	6/2	日	パナソニックリゾート大阪	木村嘉津子	須賀照子	丹羽とも子
9	北海道支部	6/2	B	~	6/3	月	ANAクラウンプラザホテル札幌	玉置百合子	髙原恵子	鈴木玲子
10	東北総支部合同 (福島·山形県·茨城県·宮城県北)	6/2	日	~	6/3	月	天童ホテル	齋藤節子	藤井靖子	加納幸子
11	千葉県成田支部	6/4	火	~	6/5	水	本部道場	長岡勝美	小林久美子	角田由美子
12	静岡県支部	6/15	±	~	6/16	В	静岡県職員会館 もくせい会館	内野美津子	鎌上恭子	花輪とも絵
13	板橋·小平支部合同	6/25	火	~	6/26	水	本部道場	後藤光子	三上博子	村田啓枝
14	東京北支部	6/29	±	~	6/30	日	本部道場	堤恭子	四本多美子	佐藤美枝子 結城献子
15	滋賀県·京都洛中支部合同	7/6	±	~	7/7	日	ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター	朝倉淑美	宮本縒子	善上陽子
16	兵庫県支部	7/20	±	~	7/21	日	シーパル須磨	四本多美子	幸村惠美子	渡邉公子
17	大宮支部	7/23	火	~	7/24	水	本部道場	佐藤美枝子	富田節代	鈴木多津子
18	九州・中国総支部合同 (福岡・北九州・山口・南九州・福岡南)	9/2	月	~	9/3	火	警固神社	宮本縒子	松井陽子	長島正枝
19	神奈川県総支部合同(横浜・横浜朝日・横須 賃・横須質南・神奈川南・神奈川ふじさわ・湘南・静岡 奏)	9/17	火	~	9/18	水	本部道場	鎌上恭子	藤井靖子	小島惠子
20	川越・熊谷・新宿朝日・東松山支部合同	9/24	火	~	9/25	水	本部道場	白須清子	門倉久美子	江波戸光子
21	千葉県・練馬・むさし野・春日部南支部合同	10/1	火	~	10/2	水	本部道場	猪狩正子	髙原恵子	久留恵子
22	豊川支部	10/1	火	~	10/2	水	豊川市民プラザ	加藤由美子	小林久美子	加納幸子
23	富士北麓支部	10/2	水	~	10/3	木	宝鏡寺 空手道場	新田孝子	大矢貴江	
24	京都府·奈良県支部合同	10/5	±	~	10/6	В	京都東寺 洛南会館	山尾慶子	富田節代	田中政子
25	名古屋中支部	10/25	金	~	10/26	±	アイリス愛知	服部八子	吉川由美子	朝倉淑美
26	名古屋支部	11/2	±	~	11/3	B	アイリス愛知	石原久美子	三上博子	松井陽子

#### (2) 上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、 後進指導者を養成する能力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する 気概を持つ人材を育成することを目的とする。

① **準師範等研修会**(31 動・療法についての技術、指導法、その他、指導上の要点の検証及び確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の全国的統一性、均質性を維持・確保することを目的とする。)

箱根湯本 : 令和元年 11 月 16 日~17 日 師範 7 名、準師範 15 名

#### ② 奥伝研修会

(i)選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

本部道場 : 平成31年4月9日、令和元年10月15日

(ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本 : 令和元年 11 月 17 日~18 日 師範 7 名、準師範 15 名、奥伝 75 名

#### ② 支部長研修会

本部道場 : 平成31年4月9日、令和元年10月15日

#### (3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
	平成 31 年	4 月	155 名	
初伝	(令和元年)	7月	198名	
初伝		10 月	209名	
	令和2年	1月	152 名	714 名
中 伝	令和元年	8月	162名	162 名
奥 伝	令和元年	6 月	8名	8名
準師範	令和元年	6月	1	1
師範	令和元年	6月	0	0

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初伝	9	30	472	101	69	33	714
中伝	2	4	94	18	31	13	162
奥伝	0	0	7	0	1	0	8
準師範	0	0	1	0	0	0	1
師範	0	0	0	0	0	0	0

#### 公2 普及啓発事業

1. **自彊術に関する調査研究**(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、東京都北区の「北とぴあ」において 65~79 才の方々66 名を対象に健康度測定調査を実施した。また、平成 30 年 1 月より始めたパルスオキシメーターによる自彊術実施前後の「血中酸素飽和度変化」の継続的調査を平成 31 年度も実施した。

## **2. 自彊術に関する刊行物等の発行**(定款第4条第1項(3))

#### ① 機関紙「自彊の友」の発行

故近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、 普及活動の現状、免状取得者の氏名等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発 することを目的とする。 698,445 部の発行となった。

令和元年度各号の主な記事は次の通りである。

#### 4月号 (518号)

- ・はままつフラワーパーク
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」 ⑨(公開講演会)

#### 5月号 (519号)

- · 「本部研修会 in 熱海」始動
- ·平成31年4月1日附初伝取得者名簿(155名)
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」⑩(公開講演会)
- ・ 平成 30 年度災害対応募金活動のお礼とご報告

#### 6月号(520号)

- ・自彊術の原点は「令和」です
- ・16年ぶり金沢へ~母を偲んで
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」
  ①(公開講演会)

#### 7月号(521号)

- ·公益社団法人自彊術普及会 第9回通常総会
- · 平成 30 年度正味財産増減計算書
- ・我がクラスの自慢したい先輩

#### 8月号 (522号)

- ・千葉県稲毛支部だより
- ・「感動をお渡しするために」①(公開講演会) 公益財団法人 浜松市花みどり振興財団 はままつフラワーパーク 理事長 塚本 こなみ 先生

#### 9月号 (523号)

- ・滋賀県支部だより
- ・令和元年7月1日附初伝取得者名簿(198名)
- ・「感動をお渡しするために」②(公開講演会)

#### 10月号 (524号)

- ・立川支部 40 周年記念大会
- · 令和元年 8 月 15 日附中伝取得者名簿 (162 名)
- 「感動をお渡しするために」③(公開講演会)
- ・事務局だより「台風 15 号災害について 千葉県成田支部 長岡勝美」

#### 11月号 (525号)

- ・「シニア本部研修会 in 熱海」始動
- · 令和元年 10 月 1 日附初伝取得者名簿 (209 名)
- ・「感動をお渡しするために」④(公開講演会)

#### 12月号 (526号)

- ・横浜朝日支部 40 周年記念大会
- ・凛とした清浄な空間の本部道場
- ・「感動をお渡しするために」⑤(公開講演会)
- ・事務局だより「公益認定委員会の立入検査がありました」

#### 1月号(527号)

- 謹賀新年
- ・初めて奥伝研修会に参加して
- 「感動をお渡しするために」⑥(公開講演会)

#### 2月号 (528号)

- ·神奈川南支部 30 周年記念大会
- · 令和 2 年 1 月 1 日附初伝取得者名簿(152 名)
- ・「感動をお渡しするために」⑦(公開講演会)
- ・事務局だより「被災お見舞いに対するお礼状」紹介

#### 3月号 (529号)

- ・ワシントンにさらに中伝3名誕生
- ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー 健康体操と競技用スポーツとの違い①

#### ② 「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。 16,033 部の配布となった。

#### ③ 「自彊術の栞」の配布状況

栞には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。令和元年度は、4,681 部の配布となった。

#### 3. web による情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発を図っている。

#### **4. 公開講演会の実施**(定款第4条第1項(4))

一般の方々への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月19日に、公益財団法人浜松市花みどり振興財団 はままつフラワーパーク 理事長 塚本こなみ先生により「感動をお渡しするために」の演題で実施され、好評を得た。

#### **5. 周年記念行事の実施**(定款第4条第1項(4))

- ○支部周年行事
  - ・40 周年 立川支部・横浜朝日支部
  - ・20 周年 滋賀県支部
- ○20 年継続者表彰 1,647 名

#### **6. 海外文化交流の実施**(定款第4条第1項(4))

台湾台北教室については前年度に引続き、月一回の講師派遣をしたが、コロナ感染拡大への対応のため、3月は中止とした。またワシントンDC教室には新たに3名の中伝が誕生し、米国での普及の基盤がさらに堅固なものになっていくものと期待している。また、研修会参加のため何度も太平洋を越えて訪日戴いたことに敬意と感謝を申し上げる。

#### 7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて 自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ·本年度入館者数 165 名

#### ■ 【その他】

- **1. 会議**(定款第3章以下及び4章以下)
  - (1) 総会・・・・・・ ○決算総会 令和元年6月19日 京王プラザホテル (東京都新宿区)

議題:平成30年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

任期満了に伴う役員選任

○予算総会 令和2年2月29日 北とぴあ (東京都北区)

議題:令和2年度事業計画の承認 令和2年度収支予算の承認

(2) **理事会・・・・・・** ○決算理事会 令和元年 5 月 22 日 北とぴあ (東京都北区)

議題:平成30年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告 任期満了に伴う役員選任

○予算理事会 令和2年2月7日 北とぴあ (東京都北区)

議題:令和2年度事業計画の承認 令和2年度収支予算の承認

○臨時理事会 令和元年6月19日 京王プラザホテル(東京都新宿区)

議題:代表理事、業務執行理事の選任

(3) 支部主催会議・・・・ 随時

本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

#### 2. 見舞金・義援金募金活動の実施

令和元年の台風 15 号、19 号、21 号による暴風、大雨洪水災害にみまわれた千葉県、宮城県、福島県、長野県など、多くの会員の皆様の被害報告に、本会災害対応拠出金口座には沢山のご厚志が寄せられました。

ご厚志は、台風災害指定、東日本大震災指定、指定なしとして約630万円の高額にのぼりました。

執行理事会では、

(i)お見舞金として 約490万円

令和元年 12 月 台風被災者 85 名 令和 2 年 3 月 台風被災者 224 名 西日本豪雨被災者 21 名

(ii)義援金として 143 万円

千葉県災害対策本部、東日本大震災みやぎこども育英募金 益城町災害対策本部、北海道厚真町

への配賦を決定し実行した。

#### 3. マスコミに取り上げられた自彊術

本部

・ベースボールマガジン社『自彊術で若返える』増刷 17 刷目

#### 福島支部

・リビング福島 私の生きがい

#### 大宮支部

・ミニコミ誌(DO!SUL) 長野県カルチャーセンター

#### 千葉県柏支部

・広報かしわ からだスッキリ (4月15日)

## 小平支部

- ・西部公民館だより (1月1日)
- ·羽村市市民活動情報誌 (5月15日)

#### 神奈川南支部

・タウンニュース 「自彊術やってみませんか?」 (10月31日)

#### 豊橋支部

・エフエム豊橋 番組名:ありがっさま (6/11~24 日 3 回放送)

#### 滋賀県支部

BBC びわ湖放送 「アミンチュ」 (9月26日)

#### 京都洛中支部

・ZTV 彦根放送局 番組名:Good Life! (9月23日~27日)

#### 奈良県支部

- ・伊賀タウン情報 You 動作究めたい 自彊術サークル(6月22日)
- ・ケーブル TV ads channel 地域ニュース (4月5日)
- ・ケーブル TV ads channel weekend mix 生放送 (11月3日)

#### 北九州支部

・山陽放送テレビ 報道番組 「ごじまる」 (6月3日)

## 沖縄支部

- ・沖縄タイムス 「自彊術体操で元気はつらつ」 (11月17日)
- ・沖縄タイムス 「毎日の積み重ね大事」 (12月26日)

## 平成 31 年度(令和元年度)事業報告 附属明細書

平成31年度(令和元年度)事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人 に関する法律施行細則」第34条3項に規程する附属明細書「事業報告の内容 を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

> 令和 2 年 5 月 14 日 公益社団法人 自彊術普及会

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について(報告)

「当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の 役員として再就職する場合に事前に政府に届出を行うことが必要な「国と 特に密接な関係がある法人」に該当しません。」旨の報告を、内閣官房内閣 人事局内閣参事官(退職管理担当)宛に致しました。

平成 30 年 10 月 22 日 公益社団法人 自彊術普及会

# 平成31年度 決算報告書 平成31年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

科目	当 年 度	 前 年 度	増減
I 資産の部	¬ , , , , ,	177 1 22	H
1 流動資産			
現金預金	156,660,326	161,264,918	-4,604,592
未収金	106,117	597,354	-491,237
前払費用	467,993	955,356	-487,363
流動資産合計	157,234,436	162,817,628	-5,583,192
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	25,000,000	0
減価償却引当資産	107,000,000	107,000,000	0
新自彊術会館建設積立資産	149,000,000	110,000,000	39,000,000
特定資産合計	281,000,000	242,000,000	39,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	17,097,820	17,097,820	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	10,955,767	9,403,634	1,552,133
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-142,129,840	-134,646,772	-7,483,068
ソフトウェア	0	476,700	-476,700
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	20,000	70,000	-50,000
その他固定資産合計	507,942,883	514,400,518	-6,457,635
固定資産合計	819,047,883	786,505,518	32,542,365
資産合計	976,282,319	949,323,146	26,959,173

	科目	当 年 度	前年度	増 減
П	負債の部			
1	流動負債			
	未払金	2,307,455	2,654,236	-346,781
	前受会費	50,015,000	52,694,600	-2,679,600
	預り金	626,223	611,318	14,905
	流動負債合計	52,948,678	55,960,154	-3,011,476
2	固定負債			
	役員退職慰労引当金	27,284,500	26,213,000	1,071,500
	退職給付引当金	2,631,664	1,790,572	841,092
	固定負債合計	29,916,164	28,003,572	1,912,592
	負債合計	82,864,842	83,963,726	-1,098,884
Ш	正味財産の部			
1	指定正味財産			
	寄付金	30,000,000	30,000,000	0
	指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
	(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2	一般正味財産			
	一般正味財産	863,417,477	835,359,420	28,058,057
	一般正味財産合計	863,417,477	835,359,420	28,058,057
	(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	(0)
	(うち特定資産への充当額)	(256,000,000)	(217,000,000)	(39,000,000)
	正味財産合計	893,417,477	865,359,420	28,058,057
	負債及び正味財産合計	976,282,319	949,323,146	26,959,173

# 平成31年度 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部	<u> </u>	17.7	н 1//
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
②特定資産運用益	23,053	19,896	3,157
③ 受取会費	176,548,500	178,056,500	-1,508,000
正会員受取会費	6,610,000	6,700,000	-90,000
賛助会員受取会費	169,938,500	171,356,500	-1,418,000
<ul><li>④ 事業収益</li></ul>	92,383,602	102,419,328	-10,035,726
講習会等実施事業収益	10,965,842	11,706,928	-741,086
指導者養成事業収益	63,456,460	72,784,400	-9,327,940
資格等授与事業収益	17,961,300	17,928,000	33,300
⑤ 受取寄付金	655,000	690,000	-35,000
受取寄付金	655,000	690,000	-35,000
6 雑収益	8,771,224	9,637,177	-865,953
総会・懇親会会費	8,676,000	9,481,000	-805,000
受取利息	474	377	97
その他雑収益	94,750	155,800	-61,050
経常収益計	278,501,379	290,942,901	-12,441,522
(2) 経常費用			
① 事業費	209,702,531	207,333,665	2,368,866
役員報酬	22,772,280	22,772,280	0
給料手当	28,326,498	27,020,575	1,305,923
臨時雇賃金	3,586,300	3,012,075	574,225
報酬謝金	25,495,100	27,225,241	-1,730,141
役員退職慰労引当金繰入額	816,944	0	816,944
退職給付費用	421,194	156,241	264,953
退職給付金	410,000	180,000	230,000
法定福利費	3,280,276	3,392,617	-112,341
会議費	8,605,925	8,851,594	-245,669
会場費	1,058,765	652,556	406,209
研修会場費	12,794,690	21,414,276	-8,619,586
旅費交通費	16,560,092	18,140,484	-1,580,392
通信運搬費	9,592,865	8,505,753	1,087,112
減価償却費	7,216,251	6,964,996	251,255
什器備品費	398,998	48,060	350,938
消耗品費	13,874,575	3,357,695	10,516,880
修繕費	1,158,866	1,599,295	-440,429
印刷製本費	10,331,402	11,831,080	-1,499,678
涉外費	417,809	456,310	-38,501
光熱水料費	1,340,209	1,340,667	-458
リース料	356,390	121,826	234,564
保険料	432,254	507,772	-75,518
諸謝金	1,274,000	1,874,000	-600,000
租税公課	5,958,023	2,070,030	3,887,993
インターネット費	340,062	209,432	130,630
支払手数料	304,635	232,471	72,164

科目	当 年 度	前年度	増 減
委託費	3,881,972	6,198,110	-2,316,138
事務委託費	27,294,600	27,306,300	-11,700
雑費	1,401,556	1,891,929	-490,373
② 管理費	40,740,791	46,815,331	-6,074,540
役員報酬	7,997,720	7,797,720	200,000
給料手当	7,499,022	7,300,035	198,987
役員退職慰労引当金繰入額	254,556	, , 0	254,556
退職給付費用	419,898	87,743	332,155
退職給付金	100,000	0	100,000
法定福利費	1,649,822	1,640,730	9,092
福利厚生費	452,702	865,780	-413,078
会議費	8,340,285	8,789,973	-449,688
会場費	1,406,045	1,388,339	17,706
旅費交通費	420,809	612,679	-191,870
通勤費	1,237,380	1,207,100	30,280
通信運搬費	1,130,771	1,168,783	-38,012
減価償却費	1,091,335	1,448,281	-356,946
什器備品費	271,540	92,880	178,660
消耗品費	348,463	920,381	-571,918
修繕費	1,502,393	158,101	1,344,292
印刷製本費	371,520	459,210	-87,690
涉外費		129,410	115,500
光熱水料費	244,910 461,645		-15,672
リース料		477,317	
保険料	80,362	182,738	-102,376
諸謝金	19,906	28,559 20,000	-8,653
	20,000	,	1 602 559
租税公課 本代表社会	1,049,592	5,652,150	-4,602,558
支払寄付金	504,000	14,000	490,000
支払手数料	88,926	82,692	6,234
委託費	2,860,827	2,843,640	17,187
維費	916,362	3,447,090	-2,530,728
経常費用計	250,443,322	254,148,996	-3,705,674
当期経常増減額	28,058,057	36,793,905	-8,735,848
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,058,057	36,793,905	-8,735,848
一般正味財産期首残高	835,359,420	798,565,515	36,793,905
一般正味財産期末残高	863,417,477	835,359,420	28,058,057
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	893,417,477	865,359,420	28,058,057

# 平成31年度 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

公益住団法人 目體術普及会						(単位:円)
		公益目的				
科目	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小計	法人会計	合 計
I一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	23,053	23,053	0	23,053
③受取会費	0	0	88,274,250	88,274,250	88,274,250	176,548,500
正会員受取会費	0	0	3,305,000	3,305,000	3,305,000	6,610,000
賛助会員受取会費	0	0	84,969,250	84,969,250	84,969,250	169,938,500
④事業収益	92,383,602	0	0	92,383,602	0	92,383,602
講習会等実施事業収益	10,965,842	0	0	10,965,842	0	10,965,842
指導者養成事業収益	63,456,460	0	0	63,456,460	0	63,456,460
資格等授与事業収益	17,961,300	0	0	17,961,300	0	17,961,300
⑤受取寄付金	0	0	655,000	655,000	0	655,000
受取寄付金	0	0	655,000	655,000	0	655,000
⑥雑収益	1,000	93,750	474	95,224	8,676,000	8,771,224
総会・懇親会会費	0	0	0	0	8,676,000	8,676,000
受取利息	0	0	474	474	0	474
雑収益	1,000	93,750	0	94,750	0	94,750
経常収益計	92,384,602	93,750	89,072,777	181,551,129	96,950,250	278,501,379
(2) 経常費用						
①事業費	141,840,856	67,861,675	0	209,702,531	0	209,702,531
役員報酬	16,069,710	6,702,570		22,772,280		22,772,280
給料手当	23,836,801	4,489,697		28,326,498		28,326,498
臨時雇賃金	3,586,300	0		3,586,300		3,586,300
報酬謝金	25,155,100	340,000		25,495,100		25,495,100
役員退職慰労引当金繰入額	575,975	240,969		816,944		816,944
退職給付費用	379,400	41,794		421,194		421,194
退職給付金	410,000	0		410,000		410,000
法定福利費	2,774,168	506,108		3,280,276		3,280,276
会議費	7,776,107	829,818		8,605,925		8,605,925
会場費	0	1,058,765		1,058,765		1,058,765
研修会場費	12,794,690	0		12,794,690		12,794,690
旅費交通費	13,360,002	3,200,090		16,560,092		16,560,092
通信運搬費	2,943,789	6,649,076		9,592,865		9,592,865
減価償却費	5,847,073	1,369,178		7,216,251		7,216,251
什器備品費	0	398,998		398,998		398,998
消耗品費	11,536,993	2,337,582		13,874,575		13,874,575
修繕費	1,158,866	0		1,158,866		1,158,866
印刷製本費	517,794	9,813,608		10,331,402		10,331,402
渉外費	405,627	12,182		417,809		417,809
光熱水料費	1,142,361	197,848		1,340,209		1,340,209

公益目的事業会計						
科目	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小計	法人会計	合 計
リース料	247,202	109,188		356,390		356,390
保険料	306,613	125,641		432,254		432,254
諸謝金	40,000	1,234,000		1,274,000		1,274,000
租税公課	4,462,938	1,495,085		5,958,023		5,958,023
インターネット費	0	340,062		340,062		340,062
支払手数料	288,891	15,744		304,635		304,635
委託費	3,194,600	687,372		3,881,972		3,881,972
事務委託費	1,824,500	25,470,100		27,294,600		27,294,600
雑費	1,205,356	196,200		1,401,556		1,401,556
②管理費	0	0	0	0	40,740,791	40,740,791
役員報酬					7,997,720	7,997,720
給料手当					7,499,022	7,499,022
役員退職慰労引当金繰入額					254,556	254,556
退職給付費用					419,898	419,898
退職給付金					100,000	100,000
法定福利費					1,649,822	1,649,822
福利厚生費					452,702	452,702
会議費					8,340,285	8,340,285
会場費					1,406,045	1,406,045
旅費交通費					420,809	420,809
通勤費					1,237,380	1,237,380
通信運搬費					1,130,771	1,130,771
減価償却費					1,091,335	1,091,335
什器備品費					271,540	271,540
消耗品費					348,463	348,463
修繕費					1,502,393	1,502,393
印刷製本費					371,520	371,520
渉外費					244,910	244,910
光熱水料費					461,645	461,645
リース料					80,362	80,362
保険料					19,906	19,906
諸謝金					20,000	20,000
租税公課					1,049,592	1,049,592
支払寄付金					504,000	504,000
支払手数料					88,926	88,926
委託費					2,860,827	2,860,827
安					916,362	916,362
経常費用計	141,840,856	67,861,675	0	209,702,531	40,740,791	250,443,322
当期経常増減額	-49,456,254	-67,767,925	89,072,777	-28,151,402	56,209,459	28,058,057
2 経常外増減の部	43,400,404	01,101,920	03,014,111	20,101,402	00,400,409	20,000,007
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
性市20月用訂	0	U	0	U	0	U

		公益目的	事業会計			
科目	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小計	法人会計	合 計
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-49,456,254	-67,767,925	89,072,777	-28,151,402	56,209,459	28,058,057
他会計振替額	0	0	28,151,402	28,151,402	-28,151,402	0
当期一般正味財産増減額	-49,456,254	-67,767,925	117,224,179	0	28,058,057	28,058,057
一般正味財産期首残高				509,375,617	325,983,803	835,359,420
一般正味財産期末残高				509,375,617	354,041,860	863,417,477
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	354,041,860	893,417,477

# 平成31年度 財務諸表に対する注記

#### 1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

- (2) 固定資産の減価償却方法
  - ① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。

什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 退職給付引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

#### 2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	0	0	25,000,000
減価償却引当資産	107,000,000	0	0	107,000,000
新自彊術会館建設積立資産	110,000,000	39,000,000	0	149,000,000
小計	242,000,000	39,000,000	0	281,000,000
合 計	272,105,000	39,000,000	0	311,105,000

#### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

				(
科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	107,000,000	(-)	(107,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	149,000,000	(-)	(149,000,000)	(-)
小計	281,000,000	(-)	(256,000,000)	(25,000,000)
合 計	311,105,000	(30,000,000)	(256,105,000)	(25,000,000)

#### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	120,184,873	230,524,619
建物附属設備	17,097,820	11,398,786	5,699,034
構築物	1,053,982	775,789	278,193
什器備品	10,955,767	7,498,307	3,457,460
商標権	2,438,175	2,272,085	166,090
合 計	382,255,236	142,129,840	240,125,396

期中に除却した什器備品347,819円、ソフトウェア476,700円は除いている。

#### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
科目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	30,846,000	741,000
合 計	30,105,000	30,846,000	741,000

#### 6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。 支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を 行い、本部会計と合計している。

### 7 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減	少額	期末残高
17 0	州日7久同	当为怕加银	目的使用	その他	州小汉同
役員退職慰労引当金	26,213,000	1,071,500	0	0	27,284,500
退職給付引当金	1,790,572	841,092	0	0	2,631,664

# 平成31年度 財産目録

令和2年3月31日現在

公 公 社 団 注 人 白 連 術 並 及 今

	、自彊術普及≦ <b>+昭丰利日</b>		法田口护法	(単位:円) <b>金額</b>	
	付照表科目 	場所・物量等	使用目的等		
(流動資産)	現金	• 手元保管(本部)	運転資金として	413,688	
		•手元保管(各支部•58口)	運転資金として	6,246,836	
			<現金計>	6,660,524	
	預金	•城北信用金庫駒込支店	運転資金として	45,272,878	
		・三菱UFJ銀行駒込支店	運転資金として	244,412	
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	713,378	
		・ゆうちょ銀行支部口座(58口)	運転資金として	87,044,673	
			〈普通預金計>	133,275,341	
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (26471)	16,724,461	
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	義援金口座として (417841)	0	
			<振替預金計>	16,724,461	
	未収金	•講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	106,117	
	前払費用	•火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	467,993	
			<その他計>	574,110	
流動資産	合計			157,234,436	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	•第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的	30,105,000	
			事業の財源として使用している。		
			<基本財産計>	30,105,000	
特定資産	退職給付引当資産	•定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000	
		•普通預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000	
		三菱UFJ銀行駒込支店			
	減価償却引当資産	•定期預金	減価償却累計額に対応して引当された資産	107,000,000	
		三菱UFJ銀行駒込支店			
	新自彊術会館建設	•定期預金	資産取得資金であり、新自彊術会館建設目的	149,000,000	
	積立資産	三菱UFJ銀行駒込支店	のために積立られた資産		
			<特定資産計>	281,000,000	
その他固定	建物	•会館	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	34,626,835	
資産		北区中里二丁目14-1	共用割合は66%:34%である。		
	建物	•本部道場	公益目的事業の用に100%供している。	132,126,342	
		北区中里二丁目12-3			
	建物(工事)	<ul><li>・資料館及び会館内装工事</li></ul>	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	10,695,997	
		北区中里二丁目14-1	共用割合は82%:18%である。		
	建物	·第二道場	公益目的事業の用に100%供している。	41,497,145	
		北区中里二丁目14-3			
	建物(改修工事)		公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	5,141,023	
		北区中里二丁目14-1	共用割合は31%:69%である。	, ,	
	建物(補修工事)		公益目的事業の用に100%供している。	6,437,277	
		北区中里二丁目12-3		-,,	
		10,-1 == 1 11 11	<建物計>	230,524,619	
	建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	176,257	
		設置工事	共用割合は50%:50%	1.0,201	
		・本部道場・会館の看板交換	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	17,767	
		工事	共用割合は76%:24%	11,101	
		<sup></sup>    ・第二道場の電気・ガス・	公益目的事業の用に100%供している。	1,356,180	
		給排水·冷暖房等設備工事	→ TIT H H J → W ∧ \ / I I (C 100 W M C C A 、 20 °	1,000,100	
		加加力   11   12   12   13   14   14   14   14   14   14   14			

(畄位・田)

貸借対	対照表科目	場所·物量等	使用目的等	金額
		·会館2F設備·電気·照明工事	管理業務の用に100%供している。	1,746,829
		・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	149,226
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	760,347
		•本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	179,958
		・本部道場空調機オーバーホール追加	公益目的事業の用に100%供している。	1,312,470
			<建物附属設備計>	5,699,034
	構築物	・第二道場の舗装・排水工事、ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業の用に100%供している。	278,193
			<構築物計>	278,193
	什器備品	·家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	57,040
		・コンピューターサーバー	公益目的事業の用に100%供している。	1,689,058
		·組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	57,079
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・第二道場のインターフォン設備工事	公益目的事業の用に100%供している。	1
		· 絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	1,500,000
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	1
		<ul><li>会館3Fエアコン・換気扇</li></ul>	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	104,840
		•AED 2台	公益目的事業の用に100%供している。	199,437
		AED 2 []	〈什器備品計〉	3,457,460
	土地	·95.70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	66,453,187
	1.75	北区中里二丁目14-1	共用割合は66%:34%である。	00,455,167
	土地	131.23㎡(本部道場)	公益目的事業の用に100%供している。	109,410,000
	1.75		公面自的事業の用に100%所じている。	109,410,000
		北区中里二丁目12-3	公共日始事業の田に1000/世上でいる	01 001 500
	土地	•116.68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	91,861,500
		北区中主→ 1月14-3	<土地計>	067 704 607
	商標権	・自彊術に関する日本・中国・	公益目的事業の用に100%供している。	<b>267,724,687</b> 166,090
	77610715	台湾の商標権		
	電話加入権	•電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	•警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
	. 31		< その他計 >	258,890
固定資産合				819,047,883
資産合計		. T. ACTEL	日刊機関が印刷はなっまれた	976,282,319
(流動負債)	未払金	・アーク印刷	月刊機関紙印刷代等の未払額	1,343,211
		・郵便事業	3月分後納郵便代	232,839
		• 北社会保険事務所	3月分厚生年金保険料他	324,905
		・日鉄コミュニティ	本部道場地下ポンプ修理代	181,500
		• 東松山支部	事務委託費	225,000
	Y-2 V T	## PL A ##	<未払金>	2,307,455
	前受会費	• 賛助会費	令和2年度賛助会費の前受会費	39,391,500
		•研修会費	第109回本部研修会in熱海の研修会費	2,117,500
		•研修会費	令和2年度本部道場研修会費	8,426,000
		• 賛助会費	令和2年度団体会費	80,000
			<前受会費>	50,015,000

貸借対	対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	•王子税務署	3月分 給与分源泉所得税	252,721
		• "	3月分 204条源泉所得税	12,252
		•豊島区役所他	3月分 住民税	266,600
		•雇用保険料他		94,650
			<預り金>	626,223
流動負債合	計			52,948,678
(固定負債)	役員退職慰労引当金	•役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金	27,284,500
			<役員退職慰労引当金>	27,284,500
	退職給付引当金	•退職給付引当金	職員退職金の引当金	2,631,664
			<退職給付引当金>	2,631,664
固定負債合	計			29,916,164
負債合計	-			82,864,842
正味財產	Ě			893,417,477

# 監查報告書

令和 2 年 5 月 8 日

公益社団法人 自彊術普及会 代表理事 久保穎子 殿



私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年度(令和元年度)における 会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

#### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて 計算書類の正確性を検討した。
- (2)業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手 続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

#### 2 監査意見

- (1)貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会 計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はな いと認める。

以上